

# 第7回ラグビーワールドカップ 2019 大阪・花園開催推進委員会 議事概要

1. 日 時 令和元年7月11日(木) 午後4時～午後4時50分

2. 場 所 シティプラザ大阪 4階「海」(K A I)  
(大阪府大阪市中央区本町橋2-31)

3. 出席者 委員総数 18名  
【出席委員 14名(代理出席含む)】  
大阪府副知事 新井 純  
東大阪副市長 川口 誠司  
公益財団法人 大阪観光局 理事長 溝畑 宏  
公益財団法人 大阪府スポーツ協会 事務局長 梶川哲郎  
大阪府障がい者スポーツ協会 会長 橋爪 静夫  
大阪府ラグビーフットボール協会 会長 花折 昌治  
関西エアポート株式会社 グループリーダー 田川 典久  
一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 池田 博之  
公益社団法人 関西経済連合会 理事 神田 彰  
関西ラグビーフットボール協会 会長 坂田 好弘  
近鉄グループホールディングス株式会社 課長 稲垣 勝久  
国土交通省 近畿運輸局 計画調整官 柴谷 淳一  
国土交通省 近畿地方整備局 環境調整官 由井 伸直  
西日本旅客鉄道株式会社 大阪支社総務企画課長 梅澤 浩二

## 4. 開会及び開催都市挨拶

定刻に、ラグビーワールドカップ 2019 大阪・花園開催推進委員会事務局が司会を務め、委員長の大阪府吉村知事に代わり、新井副知事が出席し、委員長を務めた。

## 5. 決議事項

会議に先立ち、代理出席を含め定数18名のうち14名の委員に出席いただき、規約第9条第3項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立したことを確認する。

○議案1について審議した。

事務局より、参画団体の名称変更による規約の一部改正について説明を行った。

→議案1について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

○議案2及び3を一括で審議した。

事務局より、2018年度事業報告及び決算について説明を行った。

→議案2及び3について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

○報告事項について説明

- ・大会開催に向けた機運醸成の活動状況について、事務局より説明。
- ・大阪観光局・関西エアポート・関西経済同友会・関西経済連合会における大会開催に向けた取組みについて、発表いただき、情報共有した。

## ○ご意見・ご質問など

### 【副委員長】

- ・花園ラグビー場の従前の立見席については、すべて座席の設置が完了し、南側の座席についても増設をしたので、合計 24,000 席を確保できている。
- ・大型ビジョンについても、1つは北側についているが、南側にも設置する。
- ・夜になるとライトアップされていて、色味などについても時期ごとに変えているので、またご覧になっていただければ。
- ・花園中央公園については、一過性のものでなく、東大阪市・大阪府の賑わいの一つにしていかなければならない。花園ラグビー場は楽しいところだと市民に認識してもらえよう、一括で運営できないか調査・研究しているところ。
- ・花園開催 4 試合の対戦国 7 か国のほかロシア、モンゴル、ベトナム、タイの各国ともここにきて急速に交流が深まってきている。
- ・大使館、領事館を訪問することなどが波及し、東大阪市の経営者の皆さんと領事館、領事との意見交換を行うミートアップ事業を 8 月 30 日のアメリカを第 1 回目として始める予定。
- ・枚岡神社の秋の秋郷祭として、合計 23 台の布団太鼓が集まるというお祭りも 10 月 14 日、15 日にあり、我々なりにこれからも努力していこうと思っている。よろしく願います。

### 【委員】

- ・ラグビーワールドカップが終わった後が非常に大事。
- ・トップリーグにしても、開催する場所が非常に限られていて、ラグビー協会としては、ラグビーワールドカップに使用した会場をトップリーグの会場にさせていただきたいと要望している。
- ・12 会場のうち、9 会場ほどがサッカー場で、そこへトップリーグのスケジュールを入れ込むのは困難で、とにかくトップリーグを行う会場を確保するのが重要な問題になっている。
- ・花園ラグビー場は、世界的に見てもとても立派な会場なのでぜひ残していきたい。日本ラグビーの拠点としていただきたい。
- ・花園ラグビー場内、付近に宿泊施設ができれば、日本代表、女子の代表であっても常時キャンプができ、強化拠点になる。そういったことはレガシーとしてずっと繋がっていく。
- ・第 2 グランドの天然芝があるが、もう 1 つ人工芝があれば、1 年中練習することができ、ラグビー場の稼働率も良くなる。益々聖地として充実する。
- ・ワールドカップ後に起こる現象としては、ラグビーをやってみたいという子供の増加。今回は日本ででの開催でもあるし、2015 年に日本が南アフリカ代表に勝った際もそうだった。
- ・日本の子供たちは、ラグビースクールに行ってみたいとなっても、スクール数が足りていないため、興味を持ってくれた子供たちは他のスポーツに流れていってしまった。
- ・今回は、日本開催のため、今までよりもラグビーをしたがる子供たちが増えると思われる。その際、どういう風に受け入れるのかについては、試合会場のほか、キャンプ地を開放してもらえないか各自治体と交渉しながら子供たちの練習場所の確保をしていきたいと思っている。
- ・今回のワールドカップは絶対にチャンス。4 年に 1 回来る波をそのまま取り入れたい。今回は、何とか子供たちのラグビー人口を増やしたいと思っている。

### 【委員長】

ありがとうございます。

まずは大会を成功させることだが、大会の後、どのようにレガシーを残していくかについても議論させていただければと思う。

他に何か。

【委員】

8月3日は本試合のテスト的な意味ととらえている。1つテストとして抜けているのが、本大会では、海外サポーターたちがどういった行動を取るかの検証だと思っている。

海外サポーター達はたくさんビールを飲んで大会を楽しむと思われるが、トイレが足りるかということを心配している。仮設トイレを花園のグラウンドから東花園駅の間設置するなど、そういうことはご検討いただけないか。

【委員長】

ご意見ありがとうございました。

他に何か無いようなら、今回の委員会は、閉会する。

遂に、ラグビーワールドカップまで2か月になった。大阪府も東大阪市と協力しながら大会運営準備、機運醸成などに取り組んでいく。皆様方にも、引き続きご理解ご協力いただき、ご意見等ありましたらお寄せいただけたらと思っている。

以上をもって全議案の審議、報告を終了した。